

2021年11月4日開会 (通算119回)

例会開催日は、木曜日です。

開会点鐘・歌の斉唱

君が代

四つのテスト

会長挨拶



みなさん、こんにちは!

今週初めに、名小路くんや大塚くんも所属している中法人会でニートや引きこもりの方たちの職業支援をしていこうという話をしてきました。

名古屋市内(15~39歳まで)のニートや引きこもりの方の数は23,000人いるそうです。我々企業としては、若い人達のかってほしいですよ。

リクルートをとおすと、アルバイト一人雇うのにも何十万円、新卒採用をしようとする何百万円かかけて育てあげるといった現状かと思えます。

ニートや引きこもりの方だけでも23,000人。障害者の方たち、受刑者の方たちも含めると若い世代はもっといる。埋もれて力を発揮できていない子たちがたくさんいるんだと気づかされました。

その先日の中法人会で、名小路くんが講義をしてくれたのですが、2年前までニートで引きこもりだった女の子がモデレーターとして出てきていました。

その子が話していた内容の中で、非常に心に刺さった内容がありました。

それは、「高校2年生の学祭まで自分でお金を持って一人で買い物をしたことがなく、それまでは全て親がついて来てくれて、その他のことも全て親がやってくれていたから自分の力では何もできないと思い込んで、引きこもりになっていった。ある時、金山にあるリンクサポートといったニートや引きこもりの子どもたちに就職支援をやっている施設があり、職業体験ができることがあったが、自分に務まらなければ企業に迷惑をかけると思い一歩が踏み出せなかった。」とのこと。

僕たち、企業側はそんなこと一ミリも思っていないのに、そんなことまで思ってくれる子がいるのだと知りました。

そんな若い子たちがたくさんいるんだと知り、僕たちがその可能性を潰してはいけないなと思いました。

そこで、当社でも24歳の男の子を1日3時間で3日間預らせていただきました。

テーマとして“アルバイト未満の仕事”とあったのですが、結構しっかりと働いてもらい、1日2,000円+交通費+昼食とし、昼食ではその日の感想を聞いたり、懇親を深められるように色々話をしました。

その男の子は本当に普通の子で、むしろ真面目なよくできる子でした。

そんな子たちが埋もれてしまっている現状があります。

僕ら世代がやらなければならないことだと非常に感じた事業でした。

同時に、我々名古屋宮の杜ロータリークラブとしてもできることがあるのではないかと思った為、まだどのように繋げていけるか具体的にはイメージできておりませんが、必ず何かあると思うので参考程度に話させていただきました。

若い子たちのためにもまだまだ僕たちが今できることはなにかと考えながら、これから先もできることをサボらずにしっかりと一つずつやっていけたらと思います。

先日の衆議院選でも、この国を変えようというのは中々難しいことだと感じました。僕自身も選挙に行くことだけしかできません。この国を変えようとするのは難しいかもしれないけれど、目の前にいる若い子たちに手を差し伸べることはできると思います。そういった小さなことがいっぱい身の回りに落ちていると思うので、少しずつ探しながらやっていけるクラブにしていけたらと思います。

本日の田中さんの卓話も楽しみにしております。どうぞよろしくお願い致します。

幹事報告

- ロータリー希望の風奨学金への支援について、例年どおりニコボックスより¥50,000寄付致します。
- 11/19(金)に地区米山記念奨学委員会が開催されます。永田カウンセラー、清米山記念奨学委員長、鈴木会長、堀江幹事が出席予定です。
- 10/28(木)第2回地区職業奉仕委員長会議が開催されました。細川職業奉仕委員長が出席されました。
- 11/7(日)10:30～16:30@名古屋国際会議場にて地区大会が開催されます。出席の方へは集合場所やその他連絡事項について事務局よりご連絡いたします。
- 次回例会は11/17(水)12:25～13:30@名鉄ニューグランドホテルガバナー公式訪問及び名古屋名駅RC合同例会です。すでにご案内しており、出欠席について未回答の方はご回答お願い致します。日時、会場にご注意願います。

委員会報告

【出席委員会】

・出席率

(今回)

第119回例会(11/4)

当日出席率:29/50名 58%

(前回)

第118回例会(10/21)

当日出席率:27/49名 55%

修正出席率:49/49名 **100%**

※出席免除者除いて計算

・ニコボックス

武川耀師英より

奥さん仲直りしました。

コングラチュレーション!!

田中吉彦より

本日卓話させていただきます。

会長、副会長、時間が余ったら講評長めをお願いします。

林倫弘より

本日、よろしくお願ひ致します。

名小路淳より

今日もよろしくお願ひします!

伊吹洋平より

本日も宜しくお願い致します。

田中さん、卓話楽しみです!

高木勝より

やっと平常に戻りそうですね!!

柴田智志より

快晴です!

2021学年度米山記念奨学生

イ・ジェギョン氏より



YouTube上にクレヨンしんちゃんのお父さんであるひろしのみさえと出会い、結婚をしてしんちゃんとひまわりが誕生して…という何気ない日常がまとめてある動画があります。ここにいる皆さんはひろしのような普通のサラリーマンのお父さんとは少し違うと思いますが、色々な出来事があった何気ない日常を過ごしてき田と思います。

昨日、バイト帰りに寒くなってきて一年も終わりに近づいてきて、寂しい気持ちになりました。

私は韓国の歳で23歳になるのですが、韓国では20～23歳、24～26歳、それ以降と区切られるのですが、これから24～26歳の段階に入っていきます。

この20～23歳で私は何をしたかと考えてみました。

それまでは学校に通い知識を得て、留学などの経験を経て…大学に入学する前には色々な人に出会って、色々な経験をしてと理想を描いて楽しみにしていたと思いました。

しかし実際には、理想と現実に向き合う方法や、やりたいことを諦める方法を得るためにいろいろなことをしてきたのではないかなと思いました。

そこで、皆さんが今までに諦めてきたことは何かな?と気になりました。

そして、私がこれから20代を生きていく上で何を求めていけばいいのか?皆さんが20代の頃に求めていたものは何か?私とどう違うのか?と気になりました。

この話をしている最中でもその後も、皆さんが一瞬でも私と同じ年代の頃に求めていたことは何だったのか思い出す機会になれば嬉しいと思い、話させていただきました。

ありがとうございました。



その他

～入会式～



青木 剛基(あおき よしもと) 会員

会員卓話 : 田中吉彦のセブンルール

田中吉彦税理士事務所代表税理士 田中吉彦 氏



このお話をほんの1週間前に、たまたま来週の卓話誰にするかという話の間に私がいただけ・・・という引きの強さで卓話の時間をいただきました。

どうしようかなあ〜と考えるものの、

自分には、鉛筆と繋げたり、ソファを拾ったりしてつないだ会社が、誰もが知るような大きな事業となったり、好きなことが評価されて仕事になり、それが拡大していったりというような前の二人のような、そんな激動人生ではなりません。

なので今回は、

完走目標ということで、セブンルールという番組を元に私の中でのルールや、こうしようと心がけていることも含めて話したいと思います。

少しでもみなさんの勇気になれば幸いです。

① やっぱポジティブで行こう。

例えばの話でいくと、

私にとって、宮の杜ロータリーでの時間は、多くは経営者さんで、いろいろなリーダーの方と会うことができ、今の自分の仕事のあり方の基点になっております。

そんなリーダーの集まりの中で、昨年も含めコロナ禍によりあまり集まれなかったところの貴重な時間を使って、自分の話を聞いて理解していただける貴重な機会だとポジティブに捉えていこう、といったところです。

ということもあり、私史と社史という形にとらわれずに。。。

今日は自分の人生の中で支えになっていたり、気になっていたり、というワードでお話を進めて行こうと思います。

②勉強は仲間と一緒に

誰かと一緒に何かをするのが大好きです。

学生時代の一番の思い出は、サークル活動ですし、

税理士受験を乗り切れたのも、毎日受験予備校に行って、友人とワイワイやりながら受験勉強してたからだと思います。

仲間と一緒にやることは、人の成長を喜んで助け、自分も引き上げてもらえると考えております。

もちろん大学や、予備校に通える環境を整えてくれた両親にも感謝しております。

③緊急でない重要なことをやる

これはそうでありたいと思っていることです。

これは、社会人になって間もないころに読んだ“7つの習慣”という本にあるのですが、「緊急で重要なことはみんなやるけれど、本当に大事なのは緊急でない重要なことだ」と書かれております。

友人に誘われてロフトで行われている手帳の使い方についてのセミナー参加して、そこでは7つの習慣についても少し教えてもらえるのですが、そのセミナーを受け、手帳も買ってみました。

そして、社会人になって年数を重ねると、自分が求めることや、相手に求めたいことは具体的に説明できないといけないということが分かりました。

人に説明できなければ、ちょっとしたことで簡単に「乗っかる」のをやめるよう心がけていこうと思いました。

また、自分がなぜそれを選んだのか、その選択した理由を考えて、ちゃんと「根拠」を言えるように心がけています。

④ポイ活は妻に説明できない

これは趣味といいますか、ライフワークといいますか…といったところですが、

ポイ活というのはJALやANAのマイルやヒルトンのマイルなどを貯めることを言います。

なぜわざわざお金を使って行ったり来たりしたり、名古屋住まいにも関わらず、ヒルトンに用もなく泊まって、やることもなく早めに寝て、朝食をとって帰るなどなど…このポイ活については妻に理解をしてもらえません。

きっかけはJALのステージをあげることが始まりでした。

これも始めようとしていたところにJCの後輩も同じタイミングで始めようとしていて、一緒にやり始めてみると仲間と一緒にやっていることもあり、結構楽しいものです。

次に、先に皆さんに質問をさせていただきます。

“1年間だけ1億円稼ぐことができる事業”と

“毎年100万円稼ぐことができる分かっている事業”どちらがよいですか？

⑤一年の1億稼げることよりも、100年間毎年100万円稼げる価値を感じる。

お金とは、価値です！

利益は、世の中に価値を提供した成果だと思えます。

大きな価値の提供も素晴らしいが、長く価値を提供し続けることができるようにこだわりたいと思って仕事も生活もしております。

⑥誰でもない誰かのために動ける

これは、JC時代に先輩が言っていたことなのですが、

「家族のため、友人のため、知人のために動けるとするのは当たり前のことだろう。でも人の価値というのは、誰でもない誰かのために動けることではないか」と。

それがすごく心に響いて以来、そう思って生きたいと思っております。

まだ実行できてはいないのですが、というか、奉仕とは？本当のところ理解ができておりません。

そんな今の自分にとって先日のIDMは大変勉強になりました。

まだまだ分からないままなので、今後も皆さんと一緒に考えていけたらと思えます。

⑦生き残る(継続)にこだわる

先ほどの⑤にも通じる話になります。

これは、“タートル流 投資の魔術”というのがあり、

カリスマ・トレーダー、リチャード・デニスとウィリアム・エックハートが教育した常勝投資軍団「タートルズ」という集団が存在します。

ほとんどのメンバーが未経験だったにもかかわらず、わずか2週間の研修プログラムによって、マーケットで次々と巨額の利益をあげていったそうです。

当時19歳の最年少タートルだった人が、わずか4年で3000万ドルを稼ぎ出すという実績もあるそう。

そのタートルズがやっていたことが、とにかく市場に生き残れる余力を残した上で投資をする事でした。(利確損切→一部残るように)

ロータリーも限りあるものではないと思う為、生き残れるの余力を残しながら長く活動していけたらと思っております。

以上です。ご清聴ありがとうございました。